

飲料のご寄付をいただきました



今年も北海道コカ・コーラボトリング株式会社さまより、倶知安社会福祉協議会を通じて飲料のご寄付をいただきました。今年は「ジョージア ジャパンクラフトマン カフェモカ」ひと箱24本でした。有効に活用させていただきます。この場を借りてご寄付に感謝申し上げます。



今月の一句詠む読む

俳句・川柳の投稿はカフェの投稿箱、もしくはEメール info@npo-tomoni.com へ。

詠み人解説

マークシート方式の試験で設問を飛ばしたことを忘れ、一つずれてマークするミス。気をつけて！

マークして
順番違い
冷や汗だ

さかさかまぼこ

詠み人解説

混み合う松林に入ってもまもなく迷っていた人と遭遇して安心。いくとも迷った身としては他人ごとではなかった。

突然に
迷い出て来た
迷いびと
出口入口
ともに進んで

山菜とりのおばさん

詠み人解説

あちこち身体の痛さを感じるようになってしまったが、まだまだここで休んでいられない。

まだまださ
人生休む
その時は

K・Y

精神科医 土田正一郎の



その76 障がい者雇用

法定雇用率というものを決めて、それが守られなかった場合にペナルティーを科したこと。残念である。

障がい自体の苦勞とそれに伴う将来への不安に対して、あれこれ薬を使うよりも、不安に取り囲まれる時間を働くことに置き換えることでかなりその不安は緩和される。就業は治療的でもある。ただし良質な環境が必要とされる。それはどのような環境であるか、もっとみんなで考えよう。

各事業報告～12月末日現在

障がい者就労支援事業所
ワークショップようてい

契約／移行1人、B型21人

グループホーム
よろこび

利用者数 21人 空室1部屋

K.S.C. Juntos

当事者選手 8人
サポートスタッフ 8人

- ◆法人会員 正会員19人 賛助会員 団体3団体 個人45人
- ◆今年度寄付金 のべ16人 738,000円
- ◆寄付物品 牛乳パック 豚肉のみそ漬け

編集後記



元日、家族で初詣へ。1歳の息子は生まれて初めての神社で、境内の鈴の音にびっくり。これからも人生でいろいろな「初めて」を経験するでしょう。ところで私たちも今、経験したことのない物価高騰に直面しています。苦しい毎日を過ごされている方もいると思います。今こそ互いに助け合う経験の一年にしたいですね。今年もよろしくお祈りします。(かわさき)

通信
ともに

第93号

2023年1月25日発行
認定NPO法人とともに

住所 〒044-0053
北海道虻田郡倶知安町北3条西2丁目1-1
でんわ (0136) 55-5828
FAX (0136) 55-5829
Eメール info@npo-tomoni.com

ホームページ <http://www.npo-tomoni.com> ブログ <http://blog.canpan.info/npotomoni/>

今月の一枚



ひらふ坂のモニュメント
アイラブ
I♥NISEKKO

12月23日 Oさん撮影

新年のごあいさつ

理事長 小林敦子



新年あけましておめでとうございます。昨年も新型コロナにふりまわされた一年でした。厄介なコロナですが、コロナのおかげで(?)とても大事なことに気づいたこともありました。一昨年のことですが、グループホームとワークショップ合同で行った焼肉交流会は、感染対策で「黙食」でした。もちろんマスクしての会話はOKです。でも食べながらのワイワイにぎやかな声や笑顔が見えない交流会は何とも味気なく寂しい焼肉交流会に思えました。しないほうが良かったかな〜と。

そんな私の弱気を「久しぶりにほかの部のみんなの顔見れてうれしかった〜！」と利用者の明るい声が吹き飛ばしてくれました。コロナ前の状態を望むのではなく、いま出来ることをせいっぱい考えて工夫して楽しくやり続けることが大事なんだと。

これからも厳しいことが起きるでしょう。でも大丈夫！みんなに支えられて力をもらって、(たまに休みながら)ともに頑張っていくんだと強く思えます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

除雪用語の基礎知識



雪庇落とし



除雪の「雪山」

屋根からせり出す雪の塊を雪庇と言います。職員が雪庇を落とし、利用者が処理します。冬に欠かせない作業です。

ごらんの雪山は雪庇を落とした時に集めたものです。多いときは一日で背丈を超える雪山ができることも！



ママさんダンプ
写真は「スノーダンプ」

一度に多量の雪を運べるので、こちらも必需品。なぜ「ママさん」なのかというと女性でも楽に作業できるほど軽量だからだそう。ママさんダンプはプラスチック製ですが、このスノーダンプは金属製です。



ジョンバー

軽い雪を除けるときに使います。石炭をくべるスコップが「ジョンバ」だったのが転じて名付けられたそうです（諸説あります）。

手編み帽子 好評です

札幌市大通コンコースにある「元気ショップ」に販売を委託している製造部の手編み帽子が人気です。今までたくさんあった在庫がすべて売り切れ、現在急ピッチで編んでいます。

編み物未経験の利用者さんも現在練習中で、もう少しでデビューできそうとのこと。戦力として期待されています。

先日その元気ショップからたくさんの和布を送っていただきました。来店されたお客さまから「ワークショップようていでぜひ使ってほしい」と受け取ったとのこと。寄付していただいた方に感謝申し上げます。



下阿達のクッキー出品



下阿達クッキーとジュースの試食会



クッキーを製造した調理部

12月10日、蘭越町の町民センターで「薬用植物講演会・試作品発表会」がありました。その会場でシミックウエル株式会社のレモンの香りの赤ジソ「下阿達」を材料にし、ワークショップようていが作ったクッキーが試作品として出品されました。出来上がったクッキーは、紅茶のアールグレイを思わせる良い香りです。

この講演会にはおよそ60人が参加し、たくさんの方に試食していただきました。試食した方からは、「ワインに合うかも」「下阿達の風味がもう少し出てもよいのでは」といった意見が寄せられたそうです。

クッキーをつくった調理部は、下阿達の分量を調節したり、生地を変えたりするなど試作を繰り返しました。口当たりの良さを目指し、工夫を重ねました。

シミックウエル株式会社の西山さまは今回のクッキーに「とても美味しく仕上げてください感謝しました！みなさまにも好評で嬉しかったです。今年もより香り高い葉が収穫できるように、ワークショップようてい農業部や製造部の力もお借りして頑張ります」とコメントをいただきました。

サポーターズカップ出場

昨年12月17日（土）、札幌市北区体育館でソーシャルフットボール一年の締めくくりとなるサポーターズカップが、北海道精神障害者スポーツサポーターズクラブの主催で開催され、全道からK.S.C.Juntosを含めた5チームが参加し熱戦を繰り広げました。

3年ぶりの大会開催、私たちが実戦は久しぶりのことで不安な面もありましたが、なんと初戦から2連勝を飾りました。結果2戦2敗で3位に終わりましたが、勝敗もさることながらどの選手も試合を楽しんでいたようです。

今年も定期的に練習していきます。成長したチームにご期待ください。



クラブ代表の井上誠士郎先生より賞状を受け取り3位に入ったことを実感しました

